

日本における中国考古学関係文献目録(1994年)

黄川田 修・吉開 将人

1. 本目録は、1994年1月から12月までの間に、日本国内で刊行・発表された、中国考古学に関わる諸文献を集成したものである。
2. 各文献のデータ収集にあたり、『史学雑誌』所収の文献目録を柱とし、『季刊考古学』等の考古学専門誌の目録欄を参照させていただいた。
3. 東洋史・美術史関係の著作など複数の研究領域にまたがるものについては、内容的に出土資(史)料または石窟を大きく扱ったものを中心に収録した。対象地域としては、中国本土に関わるものが大部分だが、他地域出土の中国系文物についての文献も一部収録してある。
4. 都合により、扱う時代は、旧石器時代以後、唐代以前に限定した。なお論文副題は省略し、表記は当用漢字に統一させていただいた。
5. 項目は、単行本、論文、調査報告・紹介、集成・索引、動向・評論、翻訳・訳注、展覧会図録の7項目にわけだが、あくまでも便宜的な分類でしかないことをお断りしておく。
6. 各項目内の文献データは、著者名による50音順で配列した。

【単行本(訳書を含む)】

- 江上波夫著『帯鉤と青銅動物』 里文出版(東京)
- 川又正智著『ウマ駆ける古代アジア』 講談社選書メチエ
- 金石拓本研究会編『漢碑集成』 同朋舎出版
- 竺沙雅章監修『アジアの歴史と文化』1, 同朋舎出版
- シルクロード学研究センター編『シルクロード学の提唱』 小学館

- 朱恵良著 筒井茂徳・蔡敦達訳『中国人の生活と文化』 二玄社
- 徐松撰 愛宕元訳注『唐兩京城坊攷』東洋文庫 577, 平凡社
- 代表・田村晃一『東北アジアにおける支石墓の研究』平成3・4年度三菱財団学術研究助成報告書
- 張光直著 伊藤清司・森雅子・市瀬智紀訳『中国古代社会』 東方書店
- 永田英正編『漢代石刻集成(図版・釈文篇, 本文篇)』 同朋舎出版
- 西嶋定生著『邪馬台国と倭国』 吉川弘文館
- 日本考古学協会編『シンポジウム 東アジアと九州』 学生社
- 松丸道雄・高嶋謙一編『甲骨文字字釈綜覧』 東京大学出版会
- 水上静夫著『中国古代史の謎』 時事通信社
- 兪偉超著 鈴木敦訳『中国古代の社会と集団』 雄山閣

【論文】

1月

- 上田早苗「曹魏とその後の鄴」(『橿原考古学研究所論集』12, 349～363頁)
- 勝部明生「同范海獣葡萄鏡について」(『橿原考古学研究所論集』12, 125～144頁)
- 北村永「出光美術館蔵「鍍金銀雲気文盤」をめぐる一考察」(『成城文芸』145, 53～82頁)
- 樋口隆康「漢六朝紀年鏡新集録」(『橿原考古学研究所論集』11, 1～23頁)
- 吉村怜「曇曜五窟造営次第」(『仏教芸術』212, 11～36頁)
- 吉本堯俊「鏡鑑銘文少考(1)」(『筑紫女学園大学紀要』7, 39～74頁)
- 吉本道雅「春秋五等爵考」(『東方学』87, 15～27頁)

2月

- 池田知久「『馬王堆漢墓帛書周易』要篇の研究」(『東洋文化研究所紀要』123, 111～208頁)
- 小原俊樹・勝目浩司「北魏石刻考(1)」(『福岡教育大学紀要』43—5, 1～17頁)
- 五井直弘「華夏族の形成と中山国」(『専修人文論集』53, 29～67頁)
- 甲元眞之「東北アジアの先史時代漁撈」(『文学部論叢』(熊本大学文学会)45, 135～158頁)
- 西江清高「西周式土器成立の背景(下)」(『東洋文化研究所紀要』123, 1～110頁)
- 平勢隆郎「戦国紀年再構成に関する試論——続——」(『東洋文化研究所紀要』123, 1～84頁)
- 李盛珪「遼東郡の位置の変遷」(『古代文化』46—2, 14～23頁)
- 若江賢三「秦律における労役刑の刑期再論(下)」(『愛媛大学法文学部論集』(文学科)27,

71～106 頁)

- 渡辺恵理「前漢における蛮夷印制の形成」(『古代文化』46—2, 1～13 頁)

3 月

- 秋元悦子「洛陽をとりまく交通路の歴史地理(2)」(『千葉県立中央博物館研究報告』(人文科学) 3—2, 35～51 頁)
- 東賢司「後漢時代の鎮墓陶書に関する一考察」(『二松』8, 403～423 頁)
- 東晋次「父老憚石券の解釈に寄せて」(代表・間瀬収芳『『史記』『漢書』の再検討と古代社会の地域的研究』平成5年度科研費報告書, 133～140 頁)
- 市瀬智紀「蛮夷の華夏起源伝承の研究」(『史学』63—3, 17～40 頁)
- 伊藤清司「鳩杖と文身」(『日中文化研究』6, 勉誠社, 153～160 頁)
- 伊藤敏雄「米蘭の古灌漑水路網について」(代表・森田明『中国水利の歴史的研究』平成5年度科研費報告書, 15～17 頁)
- 臼杵勲「鞞靴文化の年代と地域性」(岩崎卓也先生退官記念論文集編集委員会編『日本と世界の考古学』雄山閣, 342～351 頁)
- 浦野俊則「殷墟青銅器の銘文と墓葬」(『二松』8, 279～308 頁)
- 江村治樹「戦国時代の都市社会」(代表・森正夫『旧中国における地域社会の特質』平成2～5年度科研費報告書, 11～16 頁)
- 愛宕元「墓誌銘における曲筆」(代表・安田二郎『中国における歴史認識と歴史意識の展開についての総合的研究』平成4・5年度科研費報告書, 94～101 頁)
- 霍巍「《大唐天竺使出銘》及其相關問題的研究」(『東方学報』京都, 66, 270～379 頁)
- 笠野毅「景初三年・正始元年・景初四年の陳氏作鏡銘の解釈」(岩崎卓也先生退官記念論文集編集委員会編『日本と世界の考古学』雄山閣, 325～341 頁)
- 川崎ミチコ「敦煌文書に見る孟蘭盆について」(『東洋大学中国哲学文学科紀要』2, 43～64 頁)
- 甲元眞之「中国東北地方の先史時代漁撈復元」(岩崎卓也先生退官記念論文集編集委員会編『日本と世界の考古学』雄山閣, 299～310 頁)
- 小山満「隋代の龍門石窟」(『創大アジア研究』15, 26～37 頁)
- 呉衛国「中国古俑源流の研究」(『国学院大学考古学資料館紀要』10)
- 齋藤實「秦漢魏における伝国璽」(『日本大学芸術学部紀要』23, 108～127 頁)
- 佐々木栄一「スタイン漢文文書六一三号(いわゆる計帳様文書)をめぐって」(『東北学院大学論集』(歴史学・地理学) 26, 1～34 頁)
- 篠田幸夫「『史記』秦始皇本紀「書同文字」攷」(『二松』8, 373～399 頁)
- 徐朝龍「中国古代における「神樹伝説」の源流」(『日中文化研究』6, 勉誠社, 184～205 頁)
- 杉本憲司「呉越文化の鳥」(『鷹陵史学』19, 1～18 頁)

- 杉本憲司「中国古代の城郭都市と古代伝承」(『日中文化研究』6, 勉誠社, 161~170 頁)
- 角谷常子「居延漢簡にみえる売買関係簡についての一考察」(『東洋史研究』52-4, 1~91 頁)
- 關尾史郎「高昌延壽元(六二四)年六月勾遠行馬價錢勅符」をめぐる諸問題(上)」(『東洋史苑』42・43, 62~82 頁)
- 高浜侑子「華中・華南地方における漢墓の変遷」(青山学院大学東洋史論集『東アジア世界史の展開』汲古書院, 97~132 頁)
- 竹内康浩「牧牛匱銘文考釈」(『東洋文化研究所紀要』124, 1~25 頁)
- 谷口満「先秦楚国の建国と建国伝説」(代表・安田二郎『中国における歴史認識と歴史意識の展開についての総合的研究』平成4・5年度科研費報告書, 1~9 頁)
- 田村晃一「楽浪郡設置前夜の考古学(1)」(青山学院大学東洋史論集『東アジア世界史の展開』汲古書院, 3~34 頁)
- 鶴間和幸「秦始皇帝諸伝説の成立と史実」(『茨城大学教養部紀要』26, 1~23 頁)
- 鶴間和幸「古代巴蜀の治水伝説の舞台とその背景」(代表・森田明『中国水利の歴史的研究』平成5年度科研費報告書, 9~11 頁)
- 外山潔「館藏舍利容器について(下)」(『泉屋博古館紀要』10, 90~152 頁)
- 中村茂「南越国の印璽と「帝制」」(『東アジア』3, 1~18 頁)
- 量博満「石中誕生譚と石製墓」(『日中文化研究』6, 勉誠社, 112~126 頁)
- 林英樹「漢「甘泉宮」の所在について」(青山学院大学東洋史論集『東アジア世界史の展開』汲古書院, 133~167 頁)
- 林巳奈夫「華中青銅器若干種と羽渦紋の伝統」(『泉屋博古館紀要』10, 3~68 頁)
- 廣川守「遼寧大凌河流域の殷周青銅器」(『泉屋博古館紀要』10, 153~172 頁)
- 藤田勝久「戦国楚の領域形成と交通路」(代表・間瀬収芳『『史記』『漢書』の再検討と古代社会の地域的研究』平成5年度科研費報告書, 37~64 頁)
- 間瀬収芳「戦国楚国末期の寿春地域について」(代表・間瀬収芳『『史記』『漢書』の再検討と古代社会の地域的研究』平成5年度科研費報告書, 65~93 頁)
- 松浦宥一郎「日本出土の方格T字鏡」(『東京国立博物館紀要』29, 177~254 頁)
- 宮本一夫「田舎の文物とその考古学的復元」(代表・間瀬収芳『『史記』『漢書』の再検討と古代社会の地域的研究』平成5年度科研費報告書, 11~36 頁)
- 宮本一夫「中国新石器時代と古代伝承」(『日中文化研究』6, 勉誠社, 89~100 頁)
- 百田弥弥子「龍の誕生」(『日中文化研究』6, 勉誠社, 141~152 頁)
- 山田勝芳「歴史書に記されないもの」(代表・安田二郎『中国における歴史認識と歴史意識の展開についての総合的研究』平成4・5年度科研費報告書, 33~44 頁)
- 山田勝芳「秦・前漢代貨幣史」(『東北大学日本文化研究所研究報告』30, 33~53 頁)
- 吉開将人「曾侯乙墓出土戈・戟の研究」(『東京大学文学部考古学研究室研究紀要』12, 1~49 頁)

- 劉軍「屯戍遺簡人事管理文書所反映的幾個問題」(『関西大学東西学術研究所紀要』27, 61～68頁)
- 若江賢三「秦律における遷について」(代表・間瀬収芳『『史記』『漢書』の再検討と古代社会の地域的研究』平成5年度科研費報告書, 95～111頁)
- 渡部武「水利灌漑伝承と陂塘稻田模型」(『日中文化研究』6, 勉誠社, 101～111頁)

4月

- 黄曉芬「中国古代都城制の特質」(日本考古学協会編『シンポジウム 東アジアと九州』学生社)

5月

- 浅原達郎「古代国家の出現」(竺沙雅章監修『アジアの歴史と文化』1, 同朋舎出版, 32～51頁)
- 江村治樹「変貌する古代国家」(竺沙雅章監修『アジアの歴史と文化』1, 同朋舎出版, 52～79頁)
- 勝木言一郎「中国における阿弥陀三尊五十菩薩図の図像について」(『仏教芸術』214, 61～74頁)
- 杉本憲司「先史時代の概観」(竺沙雅章監修『アジアの歴史と文化』1, 同朋舎出版, 14～31頁)
- 鈴木嘉吉「日本古代都城と中国隋唐都城との考古学的比較研究」(『学術月報』47-5, 54～58頁)
- 舛山明「古代帝国秦の成立」(竺沙雅章監修『アジアの歴史と文化』1, 同朋舎出版, 80～103頁)

6月

- 荒川正晴「トゥルファン出土漢文文書に見える ula γ について」(『内陸アジア言語の研究』9, 1～25頁)
- 稲田孝司「水洞溝技法とルバロワ技法」(『考古学研究』41-1, 25～46頁)
- 入渾崇「仏と霊」(『龍谷大学論集』44, 233～271頁)
- 宇都木章「山東省における東夷文化の概要と問題 その1」(代表・田村晃一『東北アジアにおける支石墓の研究』平成3・4年度三菱財団学術研究助成報告書, 1～8頁)。
- 小澤正人「珠江三角州における貝塚を伴う集落」(『東南アジア考古学』(東南アジア考古学会)14, 6～16頁)
- 工藤元男「戦国の会盟と符」(『東洋史研究』53-1, 1～23頁)
- 後藤雅彦「福建・広東の新石器時代研究」(『東南アジア考古学』(東南アジア考古学会)14, 17～25頁)

- 谷豊信「戦国秦漢時代の軒丸瓦製作技法」(『Museum』519, 4～24頁)。
- 藤丸詔八郎「わが国出土の虺龍文鏡の様相」(『研究紀要』(北九州市立考古博物館)1, 25～46頁)

7月

- 工藤元男「睡虎地秦簡「日書」における病因論と鬼神の関係について」(『東方学』88, 33～53頁)
- 近藤浩之「馬王堆漢墓帛書『周易』研究概説(上)」(『中国哲学研究』8, 1～69頁)
- 志賀和子「漢代『北方系』帯金具考(上)」(『古代文化』46-7, 18～28頁)
- 徐朝龍「縦目仮面,「燭龍」と「祝融」」(『史林』77-4, 1～37頁)
- 末次信行「殷代卜辞にみえる「一日の始まり」」(『東方学』88, 17～32頁)

8月

- 志賀和子「漢代『北方系』帯金具考(下)」(『古代文化』46-8, 15～24頁)
- 竹内康浩「金文から見た西周時代の裁判制度」(『史学雑誌』103-8, 1～32頁)
- 立木修「古墳出土後漢鏡の諸問題」(『倭人と鏡』第36回埋蔵文化財研究集会発表要旨資料, 29～36頁)
- 西川寿勝「舶に載ってもたらされた鏡」(『文化財学論集』, 165～174頁)

9月

- 飯島武次「秦の起源と文化」(樋口隆康監修『秦の始皇帝とその時代展』, 145～152頁)
- 稲畑耕一郎「伝説の中の始皇帝」(樋口隆康監修『秦の始皇帝とその時代展』, 158～161頁)
- 岡村秀典「中原龍山文化の居住形態」(『日本中国考古学会会報』4, 7～25頁)
- 黄曉芬「漢墓の変容」(『史林』77-5, 1～39頁)
- 甲元眞之「黄河流域の先史時代漁撈技術」(『日本中国考古学会会報』4, 1～6頁)
- 樋口隆康「秦始皇帝を発掘する」(樋口隆康監修『秦の始皇帝とその時代展』, 6～9頁)
- 平□隆郎「度量衡の統一とは何か——暦法・称元法との関わりを手がかりに」(樋口隆康監修『秦の始皇帝とその時代展』, 153～157頁)
- 藤田高夫「漢代の軍功と爵制」(『東洋史研究』53-2, 33～54頁)
- 森本和男「中国初期農業における共通性と地域性」(『考古学研究』41-2, 80～101頁)
- リサ＝ホジキンソン「黄河流域先史時代の歯科古病理学的研究」(『日本中国考古学会会報』4, 59～80頁)
- 渡辺芳郎「葬送儀礼と階層性——良渚文化の玉器副葬を例として」(『日本中国考古学会会報』4, 26～58頁)。

10月

- 飯島武次「西周時代晋国の土器」(『Museum』523, 4~13頁)
- 今井敦「隋唐の越州窯系青磁について」(『Museum』523, 14~23頁)
- 王維坤「シルクロードと死者の口に貨幣を含ませる習俗」(『考古学と信仰』同志社大学考古学シリーズVI, 539~551頁)
- 江介也「江南地域六朝墓における副葬品配置」(『考古学と信仰』同志社大学考古学シリーズVI, 517~538頁)
- 佐原康夫「漢代貨幣經濟論の再検討」(『中国史学』4, 187~205頁)
- 志賀和子「漢代北方民族における鏡と劍」(『考古学と信仰』同志社大学考古学シリーズVI, 157~170頁)
- 松藤和人「東アジアの旧石器時代装身具」(『考古学と信仰』同志社大学考古学シリーズVI, 17~40頁)
- 鈴木敦「甲骨学へのコンピューターの導入」(『博古研究』8, 35~48頁)
- 平□隆郎「西周紀年に関する試論」(『中国史学』4, 121~137頁)
- 水上和則「浙江省台州地区一黄岩地区窯址出土品について」(『貿易陶磁研究』14, 1~17頁)
- 李学勤「帛書《要》篇及其學術史意義」(『中国史学』4, 81~88頁)

11月

- 竹内康浩「西周中期以降における青銅器製作の背景」(『東洋文化研究所紀要』125,1~60頁)
- 服部敬史・千田剛道・寺内威太郎・林直樹「高句麗都城と山城」(『青丘學術論集』5, 5~100頁)
- 林巳奈夫「四神の一, 朱鳥について」(『史林』77-6, 125~143頁)
- 李權生「客省莊文化の成立について」(『東洋文化研究所紀要』125, 61~122頁)
- 渡辺芳郎「中国長江下流域における玉器副葬」(『日本考古学』1, 207~220頁)

12月

- 荒川正晴「唐代コータン地域のu l a yについて」(『龍谷史壇』103・104, 17~38頁)
- 門田明「漢簡に見える「小府」について」(『龍谷史壇』103・104, 181~196頁)
- 關尾史郎「高昌年次未詳入作人・畫師・主膠人等名籍」試釈(『龍谷史壇』103・104, 1~16頁)
- 關尾史郎「トゥルフアン出土高昌国税制関係文書の基礎的研究(7)」(『人文科学研究』(新潟大学人文学部)86, 1~26頁)
- 谷口義介「王風「揚之水」の前後」(『立命館文学』537, 76-96頁)
- 中田篤郎「官庁文書に見える「謹空」なる語に関する疑義覚書」(『龍谷史壇』103・104,

39～46 頁)

- 中田篤郎「馬王堆『南方禹』図考」(『龍谷史壇』103・104, 47～69 頁)
- 藤田勝久「『史記』と楚文化」(『「社会科」学研究』28, 17～27 頁)
- 藤田勝久「『史記』魏世家の史料的考察」(『愛媛大学教養部紀要』27, 83～106 頁)
- 熊海堂「中国古代瓦・煉瓦を焼く窯炉とその技術の朝鮮・日本への伝播」(『古代学研究』130, 1～30 頁)

【調査報告・紹介】

- 石田肇・鈴木勉「書道博物館蔵梵鐘二題」(『史迹と美術』64-10)
- 江田佳代子「河西走廊東部文物紹介」(青山学院大学東洋史論集『東アジア世界史の展開』汲古書院, 83～96 頁)
- 大山みどり「雲岡石窟雑感(12)」(『史迹と美術』64-8, 321～327 頁)
- 川口幸也「兵馬俑坑—もうひとつの可能性」(樋口隆康監修『秦の始皇帝とその時代展』, 162～164 頁)
- 蔡鳳書「尹家城遺跡と丁公遺跡」(代表・田村晃一『東北アジアにおける支石墓の研究』平成3・4年度三菱財団学術研究助成報告書, 20～27 頁)
- 徐建新「北京に現存する好太王碑原石拓本の調査と研究」(『史学雑誌』103-12, 54～76 頁)
- 菅谷文則「青龍3年銘鏡について」(『東アジアの古代文化』80, 33～54 頁)
- 田村晃一「山東省の石棚」踏査の記録」(代表・田村晃一『東北アジアにおける支石墓の研究』平成3・4年度三菱財団学術研究助成報告書, 9～19 頁)
- Mariko Yamagata, and Ian C. Glover “Excavation at Buu Chau Hill, Tra Kieu Quangnam-Danang Province, Vietnam, 1993” (『東南アジア考古学』14, 東南アジア考古学会, 48～57 頁)
- 丸山雄二「五鋒錢をもった人々」(『文化財学論集』, 297～302 頁)
- 楊晶「中国先史玉器の概述(1)」(『のじぎく文化財だより』30, 12～13 頁)
- 楊鴻勳「漢代の建築について」(『東アジアの古代文化』80, 76～83 頁)

【集成・索引】

- 小川誠・西谷大「中国新石器時代遺跡表—山東省編」(『国立歴史民俗博物館研究報告』57, 401～488 頁)
- 小原俊樹「日本散見中国文字瓦当蒐集」(『福岡教育大学紀要』43-5, 19～31 頁)
- 国立歴史民俗博物館編「共同研究「日本出土鏡データ集成」2」(『国立歴史民俗博物館研究報告』56)

- 高橋継男「『石刻史料新編第一・二・三輯』書名・著者索引」(『東洋大学アジア・アフリカ文化研究所研究年報』28, 62～92頁)
- 福田哲之「阜陽漢簡『蒼頡篇』総索引(稿)」(『福島大学教育学部論集』(人文) 55, 15～42頁)

【動向・評論】

- 浅原達郎「『熱中』の人一端方伝(六)」(『泉屋博古館紀要』10, 69～89頁)
- 穴沢味光「梅原末治論」(角田文衛編『考古学京都学派』雄山閣, 218～299頁)
- 飯島武次「夏殷周考古学の現状」(『日中文化研究』6, 勉誠社, 77～88頁)
- 王衛平「中国の呉文化に関する研究」(『広島大学文学部東洋史研究室報告』16, 16～17頁)
- 王軍「三峡ダム水没区の考古学研究について」(『日本中国考古学会会報』4, 102～106頁)
- 大島誠二「秦の起源をめぐる近年の研究動向」(『教育・研究』(中央大学附属高校)8, 1～18頁)
- 気賀澤保規「郭玉堂と『洛陽出土石刻時地記』」(代表・安田二郎『中国における歴史認識と歴史意識の展開についての総合的研究』平成4・5年度科研費報告書, 102～119頁)
- 坂詰秀一「日本考古学史拾遺——東亜考古学会・東方考古学協会と日本古代文化学会——」(『立正大学文学部論叢』99, 31～57頁)
- サム＝シーパート「狙われる文化遺産」(『NEWSWEEK』日本版, 9月4日号, 74～80頁)
- 高橋継男「主として石刻による国号隋字についての研究史」(代表・安田二郎『中国における歴史認識と歴史意識の展開についての総合的研究』平成4・5年度科研費報告書, 131～143頁)
- 谷口満「石泉教授の歴史地理研究」(『東北学院大学論集』(歴史学・地理学)26, 163～214頁)
- 町田章「中国 考古学事情」(『月刊文化財発掘出土情報』増刊号, 173～182頁)

【翻訳・訳注】

- 袁仲一著 稲畑耕一郎・内田じゅん子訳「秦始皇帝陵兵馬俑の発見、発掘とその意義」(樋口隆康監修『秦の始皇帝とその時代展』, 10～15頁)
- 王世民著 平隆郎訳「春秋戦国葬制中の樂器と礼器の組み合わせ状況」(『日本中国考古学会会報』4, 87～101頁)
- 何翠媚著 佐々木達夫・波頭桂訳「9—10世紀の東・東南アジアにおける西アジア陶器

の意義」(『貿易陶磁研究』14, 35～59頁)。

- Д. И. Гуйефスキー著 荒川正晴訳「ソ連邦科学アカデミー東洋学研究所所蔵敦煌写本における官印と寺印」(『吐魯番出土文物研究会会報』98・99)
- 嚴文明著 岡村秀典訳「中国古代文化三系統説」(『日本中国考古学会会報』4, 81～86頁)
- 謝飛・K. D. シック・N. トス・J. D. クラーク著 江介也訳「岑家灣遺跡における1986年出土石製遺物の接合研究」(『旧石器考古学』49, 1～14頁)
- 高橋庸一郎「睡虎地秦簡《語書》積文注解(下V)(下VI)(下VII)」(『阪南論集』(人文・自然科学) 29-4, 30-1, 30-2)
- 張臨生著 服部匡延訳「墓の宝は盗みを招く」(小島麗逸編『アジア墳墓考』勁草書房, 52～71頁)
- 趙輝著 後藤雅彦訳「長江中流域における新石器時代城址の発見とその研究展望」(『博古研究』8, 49～61頁)
- 童恩正著 川崎保・竹原伸仁訳「中国東北地方から西南に至る辺地半月形文化伝播帯試論」(『博古研究』7, 1～23頁)
- 童恩正著 森本和男訳「中国北方と南方における古代文明発展の相違」(『古文化談叢』33, 223～245頁)
- 俞偉超著 茂木雅博訳「方形周溝墓と秦文化の関係について」(『博古研究』8, 1～11頁)
- 俞偉超著 稲畑耕一郎訳「中国における考古学研究の思潮の変化」(『史観』130, 74～82頁)
- 楊蔭劉著 吉川良和訳「中国古代音楽史稿(10)」(『人文研究』(神奈川大学人文学会) 121, 21～69頁)
- 羅勳章著 木下尚子訳「斉長城考略」(『古代学研究』130, 31～40頁)
- 羅二虎著 木田知生訳「漢晋時期の中国“西南シルクロード”」(『龍谷大学仏教文化研究所紀要』33, 215～254頁)
- 雷從雲著 稲畑耕一郎・貝塚典子訳「始皇帝と秦文化, およびその後世への影響について」(樋口隆康監修『秦の始皇帝とその時代展』, 16～23頁)
- 早稲田大学秦簡研究会「雲夢睡虎地秦墓竹簡「封診式」訳注初稿(四)」(『史滴』16, 76～96頁)

【展覧会図録】

- 愛知県陶磁資料館学芸課『東洋陶磁名品展』(7～8月, 愛知県陶磁資料館)
- 青柳正規・西野嘉章編『東アジアの形態世界』(11～1月(1995), 東京大学総合資料館)
- 大阪府立近つ飛鳥博物館『シルクロードのまもり』(10～11月, 大阪府立近つ飛鳥博物館ほか)

- 京都文化博物館『大唐長安展』(9～11月, 京都文化博物館)
- 津市・津市教育委員会『中国歴史都市・鎮江文物展』(10月, 津リージョンプラザ・生活文化センター)。
- 天理大学附属天理参考館『騎馬民族の遺品』(10～12月, 天理ギャラリー)
- 東京国立博物館『特別展 中国の陶磁』(10～11月, 東京国立博物館)
- 奈良県立橿原考古学研究所附属博物館『倭人の世界』(4～5月, 奈良県立橿原考古学研究所附属博物館)
- 樋口隆康監修『秦の始皇帝とその時代展』(9～11月, 世田谷美術館ほか)
- 広島県立歴史民俗資料館『古墳と大陸文化』(9～11月, 広島県立歴史民俗資料館)
- 町田市立博物館『浜松市美術館所蔵小杉惣市コレクション』(12～1月(1995), 町田市立博物館)